

市長記者会見事項書

令和元年5月15日午前10時～
理事者控室

【所感】

【発表事項】

1. 松浦武四郎ドラマ放送記念講演会の開催
(担当 文化課 松浦武四郎記念館 56-6847)
2. まつさかペットボトルロケット大会
(担当 学校支援課子ども支援研究センター 26-1900)
3. 「ちゃちゃもとマンホークン」がコラボしたデザインマンホールを作製（設置）
します。
(担当 上下水道総務課 53-4130)
4. 第2回「松阪市植樹」の開催について
(担当 林業振興課 46-7124)
5. 松阪市PRプリントトラック広告事業者募集
(担当 地域ブランド課 53-4129)
6. 香肌峡の魅力を伝えるポスター用
“香肌峡フォトコンテスト”の作品募集について
(担当 飯高地域振興課 46-7111)
7. 「株式会社PUC及び株式会社松阪電子計算センターとの災害時等
における応急給水等の応援に関する協定締結式の開催」について
(担当 上下水道総務課 53-4130)

令和元年5月15日

報道機関各社 御中

連 絡 先	
課 名	文化課 松浦武四郎記念館
担当者名	川村（課長）、山本
電話番号	56-6847

1. 発表事項 松浦武四郎ドラマ放送記念講演会の開催
2. 内 容 7月15日（月・祝）夜7時30分からNHK総合テレビで全国放送されるドラマ「永遠のニッパ～北海道と名付けた男 松浦武四郎～」の放送を記念して、同日午後にはドラマの脚本を手掛けていただいた脚本家の大石静さんをお招きして講演会を開催します。
3. 開催日時 令和元年7月15日（月・祝）13時から15時まで
（12時30分開場）
4. 会 場 農業屋コミュニティ文化センター（川井町）定員 500名
※当日会場入口で11時から入場整理券を先着順に配布します。
5. プログラム 13時00分 開会、あいさつ
13時10分 第一部 基調講演（45分）
演 題：脚本家の仕事
講 師：大石 静（おいしい しずか）
14時00分 第二部 トークセッション（45分）
テーマ：（仮）「永遠のニッパ」のそこが知りたい！
出 演：大石 静
ゲスト：若泉 久朗（わかいずみ ひさあき）
※ドラマを制作したNHK札幌放送局長
6. その他 ドラマ「永遠のニッパ～北海道と名付けた男 松浦武四郎～」
北海道150年記念ドラマとしてNHK札幌放送局が制作。NHK総合テレビにおいて6月7日（金）に北海道で先行放送。7月15日（月・祝）に全国放送。81分。松浦武四郎の6度に及ぶ蝦夷地調査とアイヌ民族の交流を、北海道の雄大な自然とともに描く。
主演：松本潤、脚本：大石静、音楽：梶浦由記、語り：中島みゆき。
大石 静（おいしい しずか）
脚本家。97年NHK朝の連続TV小説「ふたりっ子」で第15回向田邦子賞と第5回橋田賞、2008年にWOWOW「恋せども、愛せども」で芸術祭優秀賞を受賞。他に「セカンドバージン」「功名が辻」（NHK）、「クレオパトラな女たち」「家売るオンナ」（日本テレビ）、「長男の嫁」「大恋愛～僕を忘れる君と」（TBS）、「愛と青春の宝塚～恋よりも生命よりも」（フジテレビ）、「セカンド・ラブ」（テレビ朝日）等。

令和元年5月15日

報道機関各社

連絡先	
課係名	学校支援課子ども支援研究センター
担当者	大辻 楠本
電話番号	26-1900

1 発表事項

まつさかペットボトルロケット大会

2 日時

令和元年8月10日(土) 午前9時半～正午

※こどもの城主催「サイエンスフェスタ」開催日

3 場所

三重県営松阪野球場（立野町）

4 競技の種類

①定点部門 ペットボトルロケットを、40m先の定点に向けて打上げ、
どれだけ定点の近くに着地できたかを競う。

②企画部門 「計画書」と「機体紹介」から、定点に着地するペットボ
トルロケットを作成するために、作成過程の中で、どのような工
夫や試行錯誤をしたかを審査する。

5 目的

- ・ 科学技術に興味を持つ。
- ・ 仲間とともに未知なる課題に向き合い課題解決を図る。
- ・ ペットボトルロケット作成を通して、プログラミング的思考を養う。
- ・ 大会を通して他校との交流を図る。

6 対象

市内の小学校4年生～6年生

(※競技は市外公募枠のチームも同時に行う(検討中))

7 チーム

- ・ 1チームの構成人数は、2人～5人までとする。
- ・ 異学年混成チームも可とする。

8 賞

- ・ 定点部門、企画部門ともに、1位から3位までを表彰する。
- ・ 上記以外にも特別賞を用意する。
- ・ 参加者全員に参加賞を用意する。

9 主催

みえこどもの城、松阪青年会議所、松阪市、松阪市教育委員会

報道機関各社 御中

連絡先	
課係名	上下水道総務課
担当者名	前崎・鈴木
電話番号	53-4130

1. 発表事項

「ちゃちゃもとマンホークン」がコラボしたデザインマンホールを作製（設置）します。

2. 設置目的

公共下水道の役割や公共下水道整備の重要性などについて、市民の皆様のご理解と関心を深め、公共下水道の整備普及率、水洗化率の向上を目的に、新デザインマンホールを多くの市民の目の触れる場所に設置いたします。

3. 設置予定年月

令和元年8月上旬

4. 設置予定場所

松阪市本町地内 1箇所、松阪市日野町地内 1箇所

5. 内容

市内には、現在「駅鈴」や「うし」等のデザインマンホールが約2万個あります。この度、松阪市のキャラクター「ちゃちゃも」が松阪市のブランド大使である児童文学作家村上しい子さんとイラストレーターたかいよしかずさんの児童書「へんなともだちマンホークン」のキャラクター「マンホークン」とコラボして下水道カラーマンホール蓋のデザインとして登場します。「ちゃちゃも」と「マンホークン」が手を繋いだあたたかいデザインとなっています。マンホールの外径は約63cmで、中心に50cmのカラープレートを取付けたものとなります。



令和元年5月15日

報道機関各社

連絡先	
課係名	林業振興課
担当者名	北村
電話番号	0598-46-7124

1. 発表事項

第2回「松阪市植樹」の開催について

2. 目的

森林環境の保全活動を実施するにあたり、平成30年4月に公益財団法人イオン環境財団と三重県及び松阪市が「松阪市植樹」に関する森林保全協定を締結し、市有林伐採跡地に、地域に自生する樹種を植樹することで、水を育む自然豊かな森の再生の取り組みを行う、第2回「松阪市植樹」が下記のとおり開催されます。

三重県のほぼ中央に位置する松阪市は面積の約7割が森林となっており、植樹地には、香肌峡県立自然公園でもある「富士見ヶ原」が隣接しており、約1万本のヤマツツジやモチツツジなどの原生ツツジが群生し、遊歩道や頂上の展望台には、多くの人々が訪れています。

また、市内を流れる櫛田川流域は、アマゴ・アユ等の清流魚やギフチョウ、オオムラサキ等の貴重な生物の住処となっており、これらの自然環境を維持していくことが必要であります。地域に自生する樹種を植樹することにより、生物を育む土壌の水源涵養機能の回復を図ることを目的に「松阪市植樹」が開催されます。

3. 日時

令和元年6月15日(土) 9時30分～11時30分

※雨天決行

4. 場所

開会式：リバーサイド茶倉

植樹地：松阪市飯南町向粥見地内 ※別紙の地図をご参照ください。

5. 主催者・参加者

主催者 公益財団法人イオン環境財団、三重県、松阪市

参加人数 約400名

・飯南中学校、飯南高校の生徒も参加されます。

6. 内容

9時30分～ 開会式(リバーサイド茶倉)

10時30分～11時30分 植樹

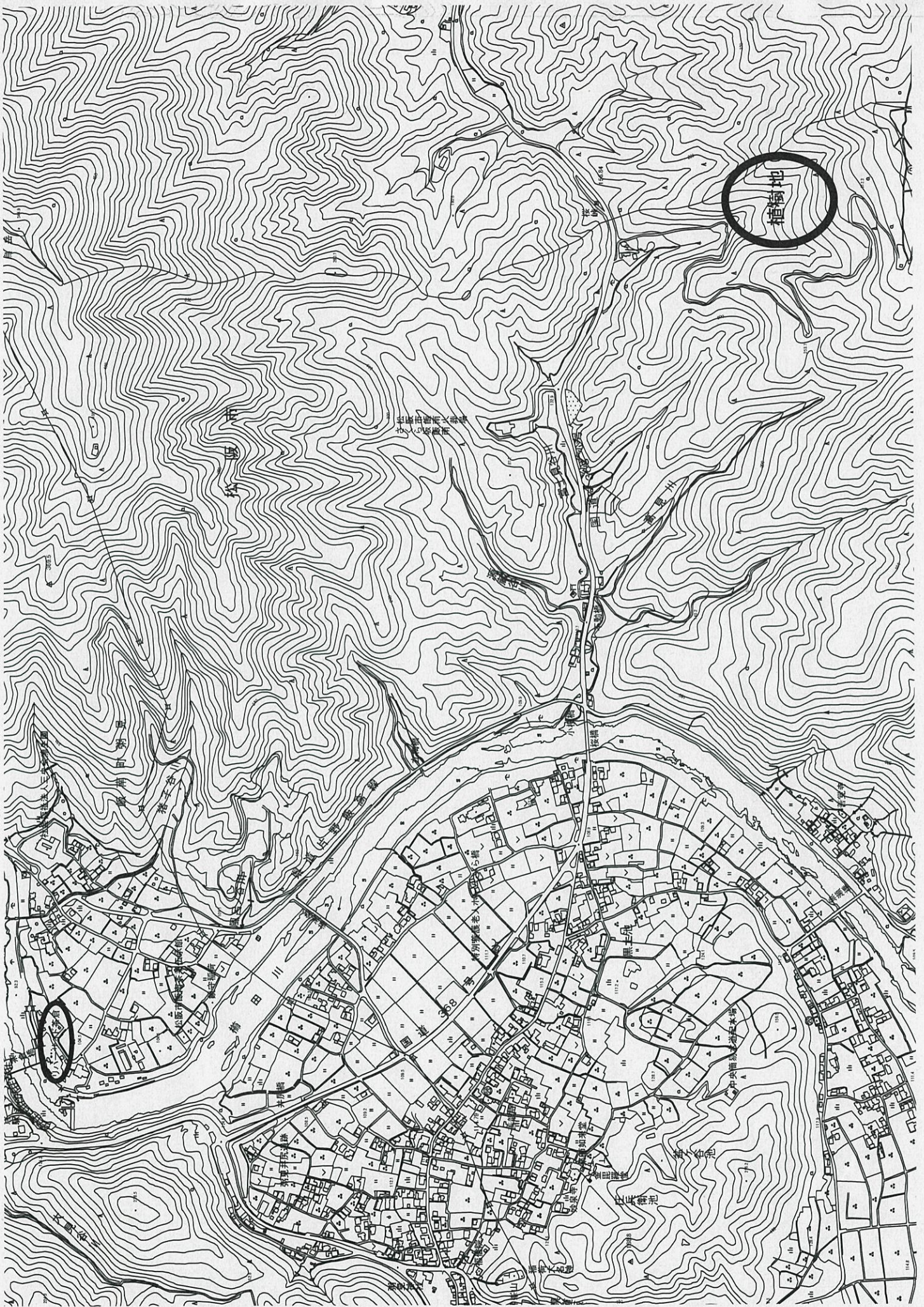
約1.5ha

4,000本(ヤマツツジ、クヌギ、コナラ等)

7. その他

・現在、イオン環境財団のホームページにて参加者の募集をおこなっております。

・活動場所は別紙の地図をご参照ください。



植樹地

本圖係由...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

令和元年 5 月 15 日

報道機関各社 御中

連 絡 先	
課係名	地域ブランド課
担当者名	砂子 森下
電話番号	内線 4 1 2 9

1. 発表事項 松阪市 PR プリントトラック広告事業者募集
2. 目的 広域的に国内を走る大型トラックに、松阪を PR するデザインを施した広告で、魅力あふれる市のイメージを発信し、認知度を全国レベルへ向上することを目的として、広告事業者を募集します。
3. 内容
- ①対象者・・・次の全てに該当する事業者
 - (1)松阪市内に輸送拠点のある事業所である
 - (2)新規車両の大型トラックである
 - (3)日本国内の輸送に使用されているトラックである
 - ②募集期間・・・令和元年 5 月 15 日（水）～6 月 29 日（金）
 - ③広告のデザイン・・・市が指定するデザインから 1 点を選択。
※市が指定するロゴ及びQRコード等も含む
 - ④費用・・・プリントにかかる初期費用のうち、2 分の 1（30 万円を限度とする）を市が負担する。
 - ⑤応募方法・・・応募用紙に必要事項を記載し、松阪市産業文化部地域ブランド課宛てへ提出※ 令和元年 6 月 29 日必着
 - ⑥事業者の決定・・・1 事業者※応募多数の場合は抽選

松阪市PRプリントトラック 広告事業者募集

～全国を走る大型トラックで、地元松阪の魅力をPRしませんか～

日々国内を走る大型トラックで、松阪市のPRを
することができればもっと全国の皆様に松阪の名を
知ってもらえるはず！

そこで、松阪市は、県外輸送の大型トラックの新
規車両導入予定の事業者で、車体にプリントを施し、
松阪のPRにご協力いただける方を募集します。



【募集要項】

1. 対象者・・・次の全てに該当する事業者
(1)松阪市内に輸送拠点のある事業所である
(2)新規車両の大型トラックである
(3)日本国内の輸送に使用されているトラックである
2. 募集期間・・・令和元年5月15日（水）～6月28日（金）
3. 応募方法・・・裏面の応募用紙に必要事項を記載し、松阪市産業文化部地域ブランド課宛てへ提出※ 6月28日必着
4. 事業者の決定・・・1事業者※応募多数の場合は抽選
5. 広告期間・・・令和2年3月31日まで
ただし、市と協議の上で、広告期間を過ぎてもプリントトラックによる輸送を継続することができる。
6. 広告のデザイン・・・市が指定するデザインから1点を選択。
※市が指定するロゴ及びQRコード等も含む
7. 費用・・・プリントにかかる初期費用のうち、2分の1（30万円を限度とする）を市が広告費として支出します。
8. 問合せ先・・・松阪市産業文化部地域ブランド課
松阪市殿町1340-1 ☎0598-53-4129
✉brand.div@city.matsusaka.mie.jp

令和元年 5 月 15 日

報道機関各社

連 絡 先	
課係名	飯高地域振興課
担当者名	高木、清川
電話番号	0598-46-7111

1. 発表事項 香肌峡の魅力を伝えるPRポスター用
“香肌峡フォトコンテスト”の作品募集について
2. 内容
歴史・文化を育み、櫛田川の清流、お茶の生産地等として知られる「香肌峡」。最近は、カヌーなど櫛田川を生かしたアクティビティでも親しまれています。
自然豊かな香肌峡の魅力を広く発信していくため県内外の道の駅などの観光施設、公共機関等へ掲示するポスターの作成に伴い、ポスター等に使用する写真を募集します。
3. 対象写真
平成31年3月から令和2年2月末の間に、香肌峡県立自然公園（概ね松阪市六呂木町から松阪市飯高町）及び赤目室生青山国定公園内（松阪市内に限る）で撮影された写真
4. 応募テーマ
 - ①櫛田川部門 香肌峡の象徴である「櫛田川」の風景を撮影した写真
 - ②歴史・文化・産業部門
歴史街道沿いの風景、粥見神社「てんてん」等
伝統の祭り・風習、深野の棚田、茶園等を撮影した写真
 - ③自然部門
台高山脈、高見山地の山々、四季を彩る花々等、
自然の風景を撮影した写真
5. 応募資格
プロ・アマを問わずどなたでも応募できます。
6. 応募期間
令和元年5月16日から令和2年3月2日まで

7. 応募方法

郵送（持参）またはメールにて応募ください。応募用紙に必要事項を記入し、郵送（持参）の場合は、2 Lサイズの写真を同封して、メール送信の場合は、作品と応募用紙を添付してお送りください。

8. 賞

- | | |
|-----------|----------------|
| グランプリ（総合） | 1点（賞状及び豪華特産品） |
| 優秀賞（各部門） | 2点（賞状及び特産品） |
| 佳作（各部門） | 3点（賞状及びスポンサー賞） |

9. 応募規定

- ①カラー写真に限ります。
- ②データサイズ 3600×2700 pixel 以上
- ③単写真に限ります。（組写真、合成写真は不可）
- ④応募点数は、部門ごとに1人2点以内とします。

10. 審査・発表

- ①主催者が別に定める審査委員会において受賞作品を選考します。
- ②入賞は、部門ごとに1人1賞とします。
- ③コンテスト入賞者には直接通知します。

11. 応募作品の取り扱い等

- ①入賞作品はポスターに使用する以外に、市公式ホームページ・インスタグラム・フェイスブック、広報誌、チラシ、出版物等に使用させていただきます。トリミング、文字の挿入など加工する場合があります。
- ②応募作品は返却しません。
- ③入賞作品の著作権、所有権、使用权等は、松阪市に帰属します。
- ④合成や変形などの画像加工したもの（トリミングを除く）は応募できません。

12. 主催、問合せ先・応募先

松阪市企画振興部飯高地域振興局地域振興課
〒515-1592 三重県松阪市飯高町宮前 180 番地
☎ 0598-46-7111 F A X 0598-46-1092
<http://www.city.matsusaka.mie.jp>
E-mail : info@kahadakyō.com

令和元年5月15日

報道機関各社 御中

連絡先	
課係名	上下水道総務課
担当者名	前崎・鈴木
電話番号	53-4130

- 1. 発表事項** 「株式会社PUC及び株式会社松阪電子計算センターとの災害時等における応急給水等の応援に関する協定締結式の開催」について
- 2. 目的** 近年、災害が多発し激甚化している中で、災害対策の一つとして民間企業（2社）と災害時における応援協定を締結し、市民への応急給水等の強化を図ります。
- 3. 日時** 令和元年5月21日（火）午後1時
- 4. 場所** 市役所 市長応接室
- 5. 出席者**
松阪市長 竹上 真人
株式会社PUC 代表取締役社長 小山 隆
株式会社松阪電子計算センター 代表取締役会長 久田 武生
- 6. 応援内容**
 - ・給水活動（人員派遣）
 - ・電話対応
 - ・現場での広報活動
 - ・給水活動拠点の提供（事業所の駐車場）
 - ・物資支援（毛布、食料）

※株式会社PUCは、上下水道事業の営業関連業務委託受託業者

※株式会社松阪電子計算センターは、松阪市が株式会社PUCのシステム運用等の再委託先として承認した業者